

シーズ名	農水産物、食品の品質評価 - 森林学習法と分光計測 -	分類：10
所属 / 職 / 氏名	物質化学工学科 教授 貝原 巳樹雄	
キーワード	分光計測、情報化学、森林学習法	

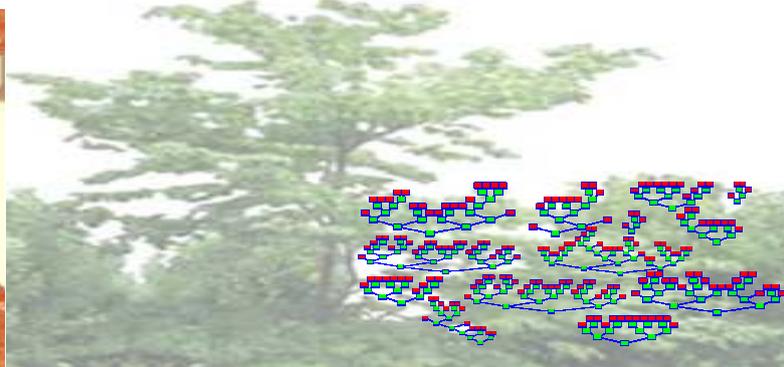
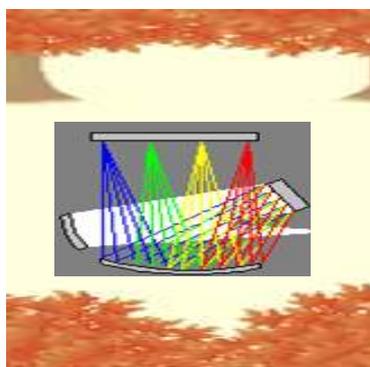
どんな技術？

一言アピール

農林水産品、食品などのポジショニング、品質評価、海藻類の品質評価、産地判別など、情報化学、森林学習法を用いた簡便、迅速な評価方法の開発。

農水産物、各種食品の簡便迅速な等級付けの技術は、生産者、消費者のいずれにとっても大きなメリットをもたらします。例えば、消費者にとっては、検査済みの農産物は、一定以上の美味しさが保証され、安心して購入することができます。一方、生産者にとっては、それが市場に出回る際に、最も美味しくなるような出荷時期を適切に選択したり、あるいは、栽培方法そのものの適正化を工夫できる可能性が広がります。

- ・ 各種農水産物の評価、等級付けを目的とした簡便迅速な方法・装置の開発を推進します。



何に使えるの？

食品のポジショニングとは、比較の対象となる、多数の食品の相対的な位置付けを、分光スペクトルの物理化学情報をベースとして、二次元平面にプロットし、相互関係を考察しながら比較検討するものです。これにより、今後の展開を考察することが可能となります。また、分光スペクトルの物理化学情報をベースとして、相対的な関係や、得点化により、品質評価も可能となります。

関連特許

関連資料等

化学工業、58巻、2号、141-147 (2007)
 “Systematization method for distinguishing plastic groups by using NIR spectroscopy”, Analytical Sciences, 23, 7, (2007) 921-924.